

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	由利本荘市			代表者名	湊 貴信
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	企画振興部情報政策課DX推進班	連絡先電話番号	0184-24-6366
担当者役職	班長	担当者氏名	阿部 香奈子	連絡先E-mail	
住所	015-8501 秋田県由利本荘市17				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	由利本荘市デジタル人材育成研修
概要	職員にデジタルについての見識を深めてもらい、現場からデジタル化やDXへの提案等を促すことで、より市民目線によるデジタル化やDX推進を図ることを目的にデジタル人材の育成・確保の研修を実施する。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 計画策定支援		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年9月26日	支援・助言&フォローアップ(実地)	9時00分	12時00分	10
				活動時間（分）	170
2-2. 派遣場所	会場名	由利本荘市役所 本庁舎		最寄駅	羽後本荘駅
	所在地	由利本荘市尾崎17番地		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村上 文洋
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	ワークショップを通じて、日頃の業務課題についての深掘りと気づきを得ることができた。グループごとの発表においては、課題解決に向けたアプローチの仕方について、幅広い知見からご指導をいただき刺激を得たことで、職員からも前向きな感想が聞かれた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	22人
	属性	自治体職員	住民
	人数	22	0
		0	0
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果			
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本市では、各種デジタル化を推進してきているが、職員自身の業務改善やデジタルによる課題解決に向けて、ジブンゴトとして捉え、デジタル活用を検討することが難しい状況であった。		
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	職員がデジタルに関しての理解を深め、課題を深掘りしていくことで、目指す姿を整理し、現場（原課）の市民目線に基づいたデジタル化や自身の業務効率化を推進する。職員の意識改革。職員と市民双方の利便性が向上することによる幸福度の増大。		

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	参加職員を4～5人×5グループに分けてのワークショップ形式で行った。配布した業務課題一覧の中から、各グループで一つ取り上げ、課題の整理と解決方法について話し合い、最終的にグループ発表を行うというもの。研修実施以前に、本市DX推進計画の策定に向けて、各課から業務課題をピックアップしており、この課題一覧を活用した。アドバイザーは、進行のほかに関各グループを回り個別に助言を行ったほか、グループ発表を受けての改善指導を行った。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	事前に収集した課題一覧では、達成したい目的と課題設定・指標設定がリンクしていないものが散見されたが、グループワークを通じてアプローチの方法を具体的にレクチャーしていただいたことでブラッシュアップされた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 成果物はなし
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 支援終了後に、アンケートを実施した。「DXは難しいもの」という先入観がやわらぎ、身近に感じられるよになり、必要性を強く感じたようだ。意識の変化やマインドセットができたほか、業務改善への具体的な気づきがあり、デジタル化やDXに対するハードルが低下した。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
4－4. 事業の最終的な目指す姿	職員がデジタルに関しての理解度を深めることにより、現場(原課)の市民目線に基づいたデジタル化を推進する。これにより、オンライン申請の充実や書かない窓口の拡大を促し、職員と市民双方の利便性が向上することで幸福度が増大する。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/</a>
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	
<div>なおくその他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</div>		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。		

